

11 月 13 日：VN 指数はどうか上昇 (VN-Index +0.10%)

- 4 営業日続落中の VN 指数は本日もその流れを受け継ぎ、下落して始まった。前場では一度上昇に転じた局面があったものの、これまでの方向感を打ち破ることはできずに推移した。
- 多くのセクターにわたって下落は広がり、特に石油・ガス、素材、金融セクターの下落が響いた。
- 後場では一転して逆の動きとなり、指数は反発して最終的にわずかに上昇幅を確保したところで大引けとなった。
- 金融セクターが引き続き軟調だった反面、小売セクターが後場の主役であった。
- 153 銘柄が上昇、203 銘柄が下落、72 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 7.9%上昇し、15.3 兆ドンとなった。

VN30 指数が相場をけん引 (VN-30 +0.16%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、15 銘柄が上昇し、11 銘柄が下落。4 銘柄が変わらずとなった。
- HPG (-1.64%)が最も大きな下落。それに続いて PLX (-1.27%)、GVR (-1.06%)も軟調であった。
- MWG (+1.81%)、VPB (+1.31%)の 2 銘柄が 1%を超えて上昇した。

セクター・個別株の動き

- FPT (+0.73%)は AI サービスの提供を目的として、日本に AI センターを設立した。同社の日本の従業員数は現在 3,500 人だが、今後 5,000 人まで拡大するとビン会長は話している。
- GAS (-0.43%)と DPM (+0.59%)は 2 社間の会合において、国内の効率的、経済的なガスの供給・消費の達成を目的とした協力に関する協定を締結した。
- 外国人投資家は 1,636 億ドンの売り越しとなった。売り越しは VPB (+1.31%)に集中した一方、買い越しは銘柄ごとに分散した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。